

単 元 名	ボール蹴りゲーム		配当時間	9 時間
単元の目標	(1) ルールを守り，互いに仲よくゲームを行い，勝敗を素直に認めようとする。 (2) ゲームを楽しむための簡単な作戦を工夫することができる。 (3) ボールを蹴ったり，止めたりして楽しくゲームをすることができる。			
単元を構想する上での留意点	2 年生では，足を使っのボール操作に習熟している児童は少ないので，まず，足でのボール操作に慣れさせることが大切である。そこで，本単元では，ボールを使って遊ぶ時間を多くとり，足でのボール操作に十分慣れさせる。その後，対陣ボール蹴りゲームを行い，中学年のサッカー型ゲームへつなげるようにする。			
単元展開例				
準 備	サッカーボール，段ボール箱，カラーコーン，ハードル，対戦表 など			
学 習 活 動			留 意 事 項 な ど	
1 ボール蹴りゲームのねらいと内容を理解し，学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 作戦を工夫してボール蹴りゲームを楽しもう ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○足を使ってボールで遊ぶ。 ・足裏でボールタッチ ・ドリブル ・2 人組で対人パス ・ボールの取り合い など 2～4 足を使ってボール遊びをする。（ねらい1） ○1 人で足を使ったボール遊びをする。 ・足裏でボールタッチ ・ドリブル ・リフティング ・的当て（箱，カラーコーン） ・的通し（ハードル） など ○2 人以上で足を使ったボール遊びをする。 ・2 人組で対人パス ・ボールの取り合い ・守りをつけて的当て など ○反省し，まとめをする。 ・楽しかったこと ・できたこと 5～8 簡単なルールで作戦を工夫して対陣ボール蹴りゲームを楽しむ。（ねらい2） ○チームをつくる。 ○足を使ったボール遊びをする。 ○ゲームの進め方の確認をする。 ・ルール ・マナー ・対戦相手 ○チームのめあてや作戦を話し合う。 ○第1ゲームをする。 ○反省し，練習をする。 ○第2ゲームをする。 ○反省し，まとめをする。 ・めあて ・作戦 ・ルール ・マナー など			・足でボールを操作し，作戦を工夫してゲームをすることを知らせる。 ・人数分ボールを用意する。 ・蹴ったボールが顔に当たることがないよう適当な間隔をとって行わせる。 ・足でのボール操作に慣れさせるため，時間をかけて行う。 ・グループは自由につくらせる。 ・足のいろいろな部位を使って蹴らせる。 楽しくボール遊びを行う活動を通して，「関心・意欲・態度」を評価する。 ・1チーム4～6人，男女混合で編成する。 ・2～4時に行った遊びをチームで選んだり，工夫したりして行わせる。 ・ルールの例 ボールはサッカーボール3号 カラーコーンの間を通ったら1点 守る人は手を使っても良い 1ゲーム4～6分 など ・めあてを立てられないチームには，話し合いに教師が加わって助言する。 ・ゲームの結果から，チームのめあてにそった動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。 ・第1ゲームとは別のチームと対戦させる。 作戦を工夫してゲームをする活動を通して，「思考・判断」を評価する。	

9 対陣ボール蹴りゲーム大会をする。 ○リーグ戦やトーナメント戦で対陣ボール蹴りゲーム大会をする。 ○単元のまとめをする。	・試合方法は，学級の実態に応じて決める。 評 対陣ボール蹴りゲーム大会を通して，「技能」を評価する。 ・チームでの話し合いや自己評価などをさせる。
---	--